

2008 年南極医学医療ワークショップ

プログラム

日時：2008 年 8 月 23 日（土曜日）

場所：国立極地研究所 講堂（6F）

09:30 受付開始

10:00 開 会

1) 趣旨説明 および

世界の南極医学研究と日本南極地域観測（JARE）での医学研究

渡邊研太郎（国立極地研究所）

10:10 南極医学医療のアップデート

座長：長谷川恭久（46 次医療・医学担当）

2) 最新の昭和基地医療・医学事情

渡邊研太郎（国立極地研究所）

3) 韓国の南極医学研究体制と医療活動

Sung-Ho Kang (Korean Polar Research Institute) ・

Kang, Yoon Kyoo (Korea University Medical School)

4) マイトリ基地の医療・医学

Suresh C. Tiwari (All India Institute of Medical Sciences)

5) 中国の南極医学研究

Xu Chengli (Institute of Basic Medical Science)

6) 研究体制--日本の選択 多彩な研究集団の形成

大野義一朗（南極医学研究班、39 次医療・医学、東葛病院）

11:40 心理学研究

座長：藤原久子（45 次医療・医学担当）

7) 心理学調査が示す日本の越冬隊員像 ～時期変化および国際比較、京都市民との比較～

川部哲也（大阪府立大）

8) 心理学調査結果をどう応用するか?その可能性について 佐々木玲仁(京都文教大学)

9) 宇宙における心理学研究

井上夏彦（宇宙航空研究開発機構）

10) 閉鎖実験施設における心理

相部洋一（有人宇宙システム株式会社）

11) 指名発言：中国における南極心理学調査

Xu Chengli

***** 昼 食 *****

- 14:00 南極と宇宙の連携の模索 座長：大野秀樹（杏林大学）
12) 南極医学と宇宙医学の接近 大野義一郎
13) 宇宙と南極の連携の模索 向井千秋（宇宙航空研究開発機構）
14) 指名発言：極限環境下の居住設計では何が問題になっているか？
村上祐資（50次越冬；東大院建築）

- 14:40：越冬隊調査報告（1） 座長：下枝宣史（43次医療・医学担当）
15) 昭和基地から：遠隔医療実験の到達点 橋本信子・当山陽介（49次医療・医学担当）
16) JAREにおける10年間の南極レジオネラ調査の取り組み
下枝宣史（43次医療・医学担当）
17) 南極レジオネラ研究の到達点と今後の課題 石井良和（東邦大学）

***** コーヒーブレイク *****

- 16:00 極限環境下での栄養・健康管理 座長：中尾美千代（神戸女子短大）
18) 私たちに必要な栄養と健康管理 渡辺 昌（国立健康・栄養研究所）
19) C P K変動と血中アミノ酸 堀内正久（鹿児島大医学部）

- 16:40 越冬隊調査報告（2） 座長：下枝宣史
20) 乾燥医学：モンゴルがくしゃみをするとう日本が風邪をひく？～黄砂の影響
大谷眞二（40次医療・医学、日野病院、鳥取大乾燥地センター）
21) 50次隊での医学研究計画紹介 井口まり、森川健太郎（50次医療・医学担当）

***** ディスカッション *****

- 18:00 閉 会 大野義一郎

***** 懇 親 会 *****

- 19:00 終 了